

## 令和7年度地区懇談会（美園・若草地区） 議事録（概要）

令和7年11月10日（月）18:00～19:30

若草つどいセンター 出席者14名

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### (1) 道路への雨水流出について

概要説明：美園・若草地区連合町内会

- ・ 昨年度の地区懇談会でも時間を費やし話し合いをしたが、道路への雨水流出についてその後どうなったかを説明いただきたい。

回答：都市整備部

- ・ 登別の市道は約300kmあり全体的に経年劣化が進行して多数の補修箇所が存在しているため、緊急を要する箇所を優先的に補修している。
- ・ 美園町及び若草町の市道では市民から多数の補修要望が寄せられ、その都度現地確認及び説明を行っているところである。
- ・ 美園町6丁目32番地7の空き地からの雨水流出については路面が凍結する前の補修を前提に業者へ依頼しており、10月24日に対応を完了している。

質問：美園・若草地区連合町内会

- ・ 美不二町会からの要望として上がっている可能性があるが、美園町の雨水排水溝に土砂がかなり溜まり、大雨時に水が漏れたり溢れたりするとの報告がある。
- ・ 雨水桝内の土砂の吸い取りは、要望がなければ行われぬのかを確認したい。

回答：都市整備部

- ・ 雨水排水の土砂溜まりは職員が定期点検しているが、全てを見切れぬため気になる箇所があれば市の土木・公園グループへ連絡してほしい。
- ・ 連絡を受け次第、現地確認を行い、必要があれば土砂の搬出などの清掃作業を実施する。
- ・ 美園町の雨水排水溝については先日確認して清掃済みで、他に問題があれば同様に連絡をお願いする。

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### (2) 太陽光パネルの設置計画と弊害についての対策

概要説明：美不二町会

- ・ 釧路湿原付近での太陽光パネル設置の問題があったが、私たちの地域でも同様の設置が行われるのかという懸念があるため、今後の計画を教えてください。
- ・ 太陽光パネル設置による弊害に対して、市がどのような対策を考えているか説明をお

願います。

**回答：市民生活部**

- ・ 市は環境・景観・生活環境の保全を目的に、本年3月に「登別市再生可能エネルギー発電事業と地域との調和に関する条例」を制定し、6月から施行している。この条例では、検討段階の相談、事前協議書の提出、住民説明会、着工予定日の60日前までの事業計画届出の手続きを定めた。
- ・ 条例に基づく事前に協議書の提出があった太陽光発電の事案は4件である。
  - ・ 上登別町42番地で発電量が約2MW、現在建設工事中で来年7月に稼働予定
  - ・ 上登別町42番地で発電量が50kW、着工未定で来年末に稼働予定
  - ・ 幸町3丁目1番地の月とらいおんの幌別側で発電量が約2.5MW、着工未定で来年10月に稼働予定
  - ・ 登別本町3丁目19番地のオカモト石油の裏側で発電量が約1.4MW、着工は来年3月で来年9月に完成
- ・ 太陽光パネルの設置に関する市の対応としては、条例に基づき設置場所と関係のある町内会を対象とした住民説明会を開催するほか、土地の形状・雨水処理・景観等に関して知見を有する自然保護団体との必ず意見交換を行っている。事業者と地域等で防災や景観を含めた自然環境全般について再エネ業者と質疑応答をしている。市としては、条例で定める配慮事項として、自然環境、景観、生活環境等の保全として、樹木の伐採、植樹、騒音、防災安全対策として土砂流出の防止措置や法面崩壊の防止、雨水の排水措置があり、維持管理としては敷地内の除草・剪定等を定めていて、住民説明会の内容を踏まえて事業者へ安全対策等について要請していく。

**質問：美不二町会**

- ・ 今の案件4件とは別に登別市内で大規模メガソーラー計画をいう噂を耳にした。
- ・ 白老町でいうと住宅地に非常に近い場所へ大きな太陽光パネルを設置していて、事前に知らせる取組をしている。上鷺別町や富岸町などで旧天華園の2倍以上に相当する規模の話聞いており、何か話があれば教えてもらいたい。

**回答：市民生活部**

- ・ 噂の範囲で上鷺別町や富岸町については聞いているものの、事業者からの話がないので、現時点では回答できない。

**意見：美不二町会**

- ・ もしそのような話が出てきた場合は、計画を実行する前に地域住んでいる市民の人に説明をするようにしてほしい。

**回答：市民生活部**

- ・ 市の条例により、住民説明会や関係団体としっかり協議するようになっているため、何の説明もなく急に事業が始まることはないと考えている。

#### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

##### (3) 防災スピーカーのサイレンや言葉が聞き取れない対策

###### 概要説明：美園・若草地区連合町内会

- ・ 防災スピーカーの音が聞き取りにくいということが、多くの町内会で出てきていると思う。
- ・ 女性の声がいいのか、男性の声がいいのか、高い声がいいのか、低い声がいいのか、という音の高さ、語り方、サイレンの流し方を検証し、何の危険かが分かるように改善する必要がある。
- ・ 住民が「これは避難だ」「津波だ」「火災だ」と即座に判断して速やかに避難できるように、その対策内容を示してほしい。

###### 回答：総務部

- ・ 防災無線のサイレンや放送が聞き取れないとの苦情は7月30日以前から多数寄せられ、意見交換会でも同様の要望が多くあった。
- ・ 音質改善は設置業者と協議し、声の種類やサイレン音、音量などを試しているが、建物の気密性や気象条件の影響で十分改善できていないのが実情である。
- ・ 聞き逃し確認ダイヤルで放送内容を電話で聞けるほか、防災メール・LINE・Xでサイレンと同時に同内容を配信しているため、携帯端末をお持ちの方は登録を呼びかけているところである。
- ・ 放送のみで避難所や避難地域を正確に伝えるのは難しく、メールやLINE等での文字情報の伝達が確実であるため、今後はこれらの周知を重点的に行う予定である。

###### 質問：美園・若草地区連合町内会

- ・ 防災無線のスピーカーの音量について、現在の音量は10あるとすれば、どのぐらいの音量で流れているか。

###### 回答：総務部

- ・ 各地域ごとに音量を個別設定しており、場所ごとに最適値が異なる。
- ・ 音量を上げれば聞こえるとは限らず、他の箇所との干渉などの問題がある。
- ・ 設定はそれぞれ最大にはしていなかったと思われる。

#### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

##### (4) 若草小学校の鷺小との統合計画について

###### 概要説明：美園・若草地区連合町内会

- ・ 少子化に伴い登別市で小学校の統合が進んでいるという背景があるが、若草小学校と

鷲別小学校の統合計画はどのようになっているのか。

**回答：教育部**

- ・ 本市は令和3年8月に「登別市小中学校適正規模適正配置基本指針（グランドデザイン）」を策定し、市立小中学校の将来的な適正配置の姿を示している。
- ・ その指針では、若草小学校と鷲別小学校を令和8年度から令和17年度までの10年間の期間の中の前半に統合する想定を掲げている。
- ・ 現在は令和8年度以降の見直し作業を行っており、児童生徒数が想定以上にさらに減少しているため、当初の前半での統合検討を進める見込みである。
- ・ 統合検討については、まずは児童数減少が大きい鷲別小学校区の保護者及び地域と協議し、統合が決まれば若草小学校区の保護者及び地域とも丁寧に協議して進める予定である。

**質問：美園・若草地区連合町内会**

- ・ 統合計画は理解したが、統合先が若草小学校か鷲別小学校のどちらになるのかを明確に教えてほしい。
- ・ 鷲別小学校は立派な避難所を兼ねており、近隣から約60人が避難できる重要な施設である。
- ・ そのまま鷲別小学校を残して、児童は児童数の多い若草小学校へスクールバスで通わせる案が考えられるが、どちらの方針を優先するのかを知りたい。

**回答：教育部**

- ・ 有事の際は海側に通うより線路側に通学するのが望ましく、安全面から若草小学校に統合することを基本方針と考えている。
- ・ 鷲別小学校は施設は新しいが、教室数を考えると若草小学校の児童を鷲別小学校に移すと教室が足りる可能性が低く、現実的には鷲別小学校区の児童が若草小学校へ移る流れが想定される。
- ・ 最終的な統合のあり方は地域の皆さんと十分協議して決めたい。

**5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：**

**(5) 高齢化がすすみ、買い物・病院難民対策**

**概要説明：美園・若草地区連合町内会**

- ・ 高齢化で病院に行きたくても移動手段が乏しく、タクシーにいちいち乗れない高齢者がいるなどの問題がある。
- ・ 美園・若草地区では交通アクセスが悪く、住民の多くが高齢者で特に困っている。
- ・ 地域や個人に任せるのか、又は、全体のモデルとなるような対策を市として検討しているのかを確認したい。

#### 回答：市民生活部

- ・ 自家用車所有が増え移動がマイカー中心となり、さらにコロナ禍で利用が減少した結果、公共交通事業者は厳しい経営状況に置かれている。
- ・ バス路線未整備地域ではタクシーが重要な公共交通だが、現行台数で需要をまかなえるか懸念があり、タクシー経営を健全に保つための支援策検討が必要である。
- ・ 高齢化で、徒歩でバス停まで行くことが難しかったり自家用車運転が困難になったりする住民が増えたため、令和4年に地域公共交通計画を策定し支援が必要な地域への対応を進めている。
- ・ しかし、運転手不足や利用者減少など公共交通を取り巻く環境は厳しく、市は事業者によるサービス継続を基本に、市民・事業者・行政と連携して本市に適した持続可能な公共交通体制への見直しを進める。

#### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

##### (6) 津波避難場所（屋外の高台）への物資備蓄は難しいと思われませんが、対策は

#### 概要説明：美園・若草地区連合町内会

- ・ 7月30日、津波想定で高台に10時から12時ごろ約100人超が避難し、炎天下で立ち続け、飲み水も足りない状況だった。
- ・ 今日のような雨やみぞれ、冬場だと寒さに耐えられず、指定避難場所に何もないと対応できない。
- ・ 対策案として、市が支給する防災用品を町会ごとに分散保管し、避難時に町会単位で避難場所へ持ち込む体制を整えるなどの対策を求める。

#### 回答：総務部

- ・ 高台の避難場所は一時的と考え高台に備蓄品を置かず、住民には非常持ち出し品の準備と持参を周知していたが、7月30日の避難では実際に持参した人はほとんどいなかったと聞いている。
- ・ 今後も「数時間外で過ごせる最低限の備え」を強く周知していく方針である。
- ・ 一方で、高齢者や乳幼児連れなど持ち出しが困難な人もいるため、高台に一定の備蓄が必要と考え、備蓄品の具体内容、倉庫設置場所、管理方法について町内会や地域と相談しながら検討する。
- ・ 津波に関する事項は別途説明を行う予定である。

#### 6. 市からの情報提供事項

##### (資料4) 新しい市役所本庁舎の整備について

#### 説明：総務部

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

**6. 市からの情報提供事項**  
**(資料1) 津波発生時の対応について**

**説明：総務部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

**意見：美園・若草地区連合町内会**

- ・ XやLINEは必要なツールだと思うので、登録するよう周知することと、職員を派遣して登録の説明会をしてもらえたらと思う。

**回答：総務部**

- ・ 防災メールやLINEについては、周知していきたいと思う。
- ・ 登録方法などについて、地域から要望があれば調整するので知らせていただきたい。

**その他**

**意見：美園・若草地区連合町内会**

- ・ この地区は登別市の西端にあり、地理的事情もあって登別方面へ出かけることが少ないという実情がある。
- ・ 以前は温泉の日帰り入浴券やマリパーク、時代村の割引券の発行があったが、最近はそのような取り組みがなくなっているように感じる。
- ・ 市民踊りや地獄祭りなどへの参加も難しく感じており住民が登別方面へ足を向けるような方策が必要だと考えている。
- ・ 地域活性化のために、再び割引券やイベント参加促進など具体的な施策の検討をお願いしたい。